

防錆剤入り手摺支柱間隙充填材 太平洋防錆グラウト

太平洋防錆グラウトは、セメント、骨材および特殊混和材を既調合したプレミックスパウダーと拡散型防錆剤を含むSBR系エマルジョンからなる鉄筋コンクリート用の間隙充填材です。鉄筋コンクリート構造物に生じた間隙に充填することで間隙内の鉄筋や鋼材の防食のほかに、拡散型防錆剤がコンクリート内部の鉄筋、鋼材への防食性にも効果を発揮します。

特に、古くなった手摺支柱根元の間隙部分への充填材としてご使用いただけます。

▶ 特長

- 間隙部分への充填性を有しています。
- コンクリートと同等の圧縮強さを有しています。
- 鋼材の防食性を有しています。

▶ 製品概要・標準配合

- 太平洋防錆グラウト(20kg/袋)
- 専用防錆混合液(20kg/缶)

■ 標準配合

太平洋防錆グラウト	20kg(1袋)
専用防錆混合液	6.0kg(約1/3缶)
練混ぜ水	1.8~2.4kg

■ 1リットル当りの標準使用量

太平洋防錆グラウト	約1.43kg
専用防錆混合液	約0.43kg
練混ぜ水	0.129~0.171kg

▶ 上記配合での練り上がり容積は、約14.0ℓ

- 1) 練混ぜ水量は、施工時の温度や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。
- 2) 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。

▶ 性能例

■ 性能例① 基本性能

下記試験値は弊社・開発研究所にて実施されたものです。

試験項目	材 齢	試験結果	準拠試験方法
流下時間(秒)	直後	4.2	JHS312「日本道路公団無収縮モルタル品質管理試験方法」 ■ J14ルートによる流下時間の測定: 20℃
	30分後	5.3	
ブリーディング	直後	なし	JSCE-F522「PCグラウトのブリーディング率試験方法」
圧縮強さ(N/mm ²)	7日	36	JIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」 ■ 試験体寸法: φ5×10cm、養生条件: 20℃湿空
	28日	45	
付着強さ(N/mm ²)	7日	2.6	建研式(基材: JISA5304規定コンクリート歩道板) ■ 厚さ: 10mm、養生条件: 20℃湿空
	28日	3.0	

■ 性能例② 鋼材防食性能



太平洋防錆グラウト



普通セメントモルタル

鋼材の腐食促進方法

鋼材を埋め込んで作成・養生の完了した試験体を80℃で24hr加熱。その後、以下の条件で試験体内部の鋼材を腐食促進させた。
30℃×24hr乾燥→20℃×24hr塩水溶液浸漬(2.5%NaCl水溶液)
これを1サイクルとして合計40サイクルの繰返しを実施

施工概要

●手摺支柱根元の補修例

欠陥部の調査・補修

①注入孔、②水抜き孔の設置

太平洋防錆グラウトの混練

③注入孔からの充填

④水抜き孔からの流出確認

⑤水抜き孔の閉孔、清掃

- 注入孔:9φ程度
- 水抜き孔:5φ程度
- 充填方法:コーキングガンなど
- 水抜き孔より充填材が流出したのを確認した後、注入孔の下端まで充填を行う。
- 充填が完了したら、水抜き孔を閉鎖し、注入孔および水抜き孔周辺を清掃して完了とする。



●施工上の注意事項

- 太平洋防錆グラウトは、専用の防錆混和液との組み合わせで得られるポリマーセメント系充填材です。他の材料とは、絶対に混合しないで下さい。
- 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。使用の際には、各材料を計量の上、使用して下さい。
- 混練には、ディスク(円盤)型ハンドミキサーまたはモルタルミキサーを使用して下さい。**アルミニウム製ハンドミキサーの使用は、絶対に避けてください。**
- 混練の際には、泡を巻き込み過ぎないように十分に注意して下さい。
- 直射日光、風当たりの激しい場所では、適切な養生を行って下さい。
- 太平洋防錆グラウトの施工後に凍結の恐れがある場合には、作業を中止するか、保温対策を講じて下さい。

安全上の注意事項

■太平洋防錆グラウト(パウダー)

- 太平洋防錆グラウトは、セメントと同様にアルカリ性です。取扱い時には、保護メガネ、ゴム手袋、マスク等を着用し、目に入ったり、皮膚に付着しないように注意して下さい。
- 目に入ったり、皮膚に付いた場合は直ちに清水で洗浄し、異常がある場合は速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 太平洋防錆グラウトは、雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物として専門処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に従って廃棄して下さい。

■専用防錆混和液

- 専用防錆混和液を飲用することがないように十分注意して下さい。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分洗浄した後に速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 目に入ったり、皮膚に付いた場合は直ちに清水で洗浄し、異常がある場合は速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ご使用毎に容器缶を十分に振った上でご使用下さい。
- 凍結しないように注意し、5~35℃で、直射日光の当たらない室内にて保管して下さい。
- 開缶後は、乾燥しないように密封して保管して下さい。また、開缶後は、できるだけ早く使い切るようにして下さい。
- 運搬の際には、衝撃によって容器缶を破損させないように注意して下さい。
- 酸性物質と接触すると、NOxガスを発生しますので、酸性物質とは接触させないで下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物として専門処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に従って廃棄して下さい。

本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず、安全データシート(SDS)でご確認下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 太平洋マテリアル株式会社 <https://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館5F	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5240
関東営業部	〒370-0849 群馬県高崎市八島町58-1 ウエスト・ワンビル5F	☎ 027-329-5970
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区中村3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	☎ 06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331